

7 年連続「健康経営銘柄」への選定について

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小宮 暁、以下「当社」)は、健康経営に優れた企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄 2022」に選定されました。2016 年から 7 年連続の選定となります。

また、当社を含むグループ会社 13 社が、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されましたので、あわせてお知らせします。

※本内容は、経済産業省からも 3 月 9 日にニュースリリースが行われています。

1. 「健康経営銘柄」について

「健康経営銘柄」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる上場企業の中から、特に優れた健康経営の取り組みを実践している企業を選定するものです。

第 8 回目となる「健康経営銘柄 2022」には、32 業種から 50 社が選定されました。当社は **2016 年から、7 年連続の選定**となります。



(健康経営研究会の商標です)

2. 「健康経営優良法人」について

「健康経営優良法人(大規模法人部門)」とは、大規模法人のうち、保険者(健康保険組合等)と連携して優良な健康経営を実践している法人を認定・公表する制度です。

第 6 回目となる今回は東京海上グループから以下の法人が認定されました。

【東京海上グループの認定法人】

6 年連続: 当社★、東京海上日動火災保険★、東京海上日動あんしん生命保険★

5 年連続: 東京海上日動システムズ★、東京海上日動メディカルサービス★

4 年連続: 東京海上ディーアール★

3 年連続: 日新火災海上保険、東京海上アシスタンス、東京海上日動事務アウトソーシング、

2 年連続: 東京海上アセットマネジメント、東京海上日動ベターライフサービス、東京海上日動安心 110 番
初認定 : 東京海上日動コミュニケーションズ

※健康経営優良法人(大規模法人部門)認定法人の中で、健康経営度調査結果の上位 500 法人のみが通称「ホワイト 500」として認定されます。★印は、「ホワイト 500」に認定された法人です。

3. 東京海上グループの取り組み

東京海上グループの目指す「Good Company」を創る原点は健康経営そのものである、という理念のもと、「健康リテラシーの向上」「健康増進」「生活習慣の改善」「重症化予防」「メンタルヘルス」「感染症対策」等の健康課題に対してきめ細かく施策を立て、取り組みを進めています。

東京海上グループが健康経営を通じて目指すところや考え方を国内外のグループ全体に浸透させるため、健康に関する社員の行動規範となる「東京海上グループ健康憲章」を制定しており、グループ健康経営総括(Chief Wellness Officer 略称:CWO)を中心に、ウェルネス支援グループにより、グループ全体で健康経営の推進を図っています。

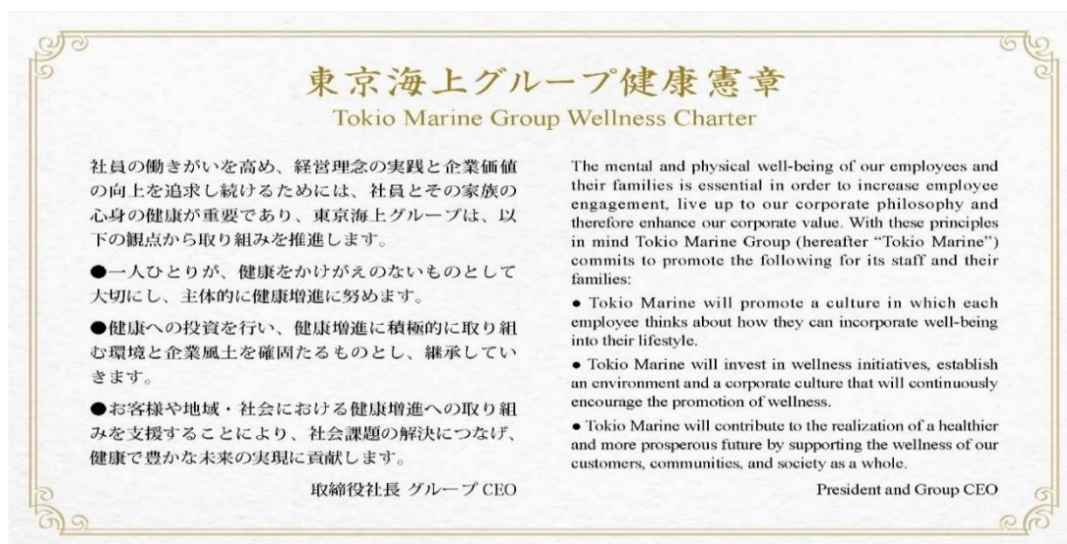
東京海上日動では、各拠点の管理職や全国 46 カ所に配置している産業保健スタッフに加え、組織ごとに選任された健康増進キーパーソンが連携し、「コロナ禍こそ健康増進」として Web ツールを活用した全員参加型の健康増進策「健康チャレンジ」に取り組んでいます。また、職場のコミュニケーションを活性化させるため、すべての職場で年3回、職場の全メンバーで議論を行い、それぞれが思う理想のチームの姿や目指す働き方などを発見し、実践していく全店運動「Discovery Time」などの諸施策を展開しています。

さらには、様々な健康課題に対する支援策として、各種セミナー開催や情報提供も定期的を実施しており、現場職場密着型の産業保健態勢を活かしたきめ細かな対応を行っています。

【取り組みの全体像】



【東京海上グループ健康憲章】



これからもグループ社員の健康度の向上とお客様企業への支援の強化を図り、健康経営のさらなる普及・拡大に努めて、社会課題の解決に貢献できるよう取り組んでまいります。

以上